

# 第4章

## 市内エコプランの進捗状況

平成24年度の「市内エコプラン」（市の事務・事業で環境保全に配慮すべき施策）の進捗状況及び事務・事業に伴い発生した温室効果ガスの排出状況を報告します。

# 1 庁内エコプランの推進

庁内エコプランは、市の事務・事業における温室効果ガスの削減目標及び環境保全に関して配慮すべき事項を定めた計画で、環境基本計画を推進するための計画であるとともに、「地球温暖化対策の推進に関する法律」の第20条の3に基づく「地方公共団体実行計画」としても位置付けられています。

本章では、平成24年度の事務・事業に伴い発生した温室効果ガス排出量の状況と、庁内組織・施設等を対象とした庁内エコプランの進捗状況を整理しています。

## 温室効果ガス総排出量の削減

市では、平成24年度を目標年度とし、温室効果ガスの総排出量を平成18年度レベルより5%削減し維持することを目標として計画を進めていきましたが、合併により基準年比の目標による評価ができなくなったため、前年度比での進行管理を行っています。

平成24年度の温室効果ガス総排出量（二酸化炭素換算）は、約7,518kgとなり、電力不足への対応のため節電の取組みを強化していた前年度より10.5%増加しました。

（ 温室効果ガス総排出量及び前年度比 ）

年 度	温室効果ガス排出量	前年度比
平成18年度(基準年度)	4,613,695 kg-CO <sub>2</sub>	-
平成19年度	4,528,096 kg-CO <sub>2</sub>	- 1.9%
平成20年度	4,790,924 kg-CO <sub>2</sub>	+ 5.8%
平成21年度(3/23合併)	4,784,755 kg-CO <sub>2</sub>	- 0.1%
平成22年度	8,924,868 kg-CO <sub>2</sub>	+ 86.5%
平成23年度	6,804,558 kg-CO <sub>2</sub>	- 23.8%
平成24年度(目標年度)	7,517,760 kg-CO <sub>2</sub>	+ 10.5%

## 職員による取組みの推進

庁内エコプランでは、目標達成のために職員一人一人が取り組むべき6項目・33行動を定めており、温室効果ガス排出量の削減に向けて、率先した取組みを促しています。

グリーン購入の推進

公用車の適正な維持管理の推進

省エネルギー・省資源対策の推進

廃棄物の減量化・資源化の推進

庁舎・施設等の適正な維持管理の推進

ノーカーデーの推進

## 対象とする組織・施設

区分	組織・施設等
市庁舎	<p>【総務部】 総務課、秘書広報課、情報管理課、管財課、防災課、行政管理課</p> <p>【企画財政部】 企画政策課、財政課、まちづくり推進課</p> <p>【市民部】 市民活動推進課、市民安全課、市民課、市民税課、資産税課、納税課、国保年金課</p> <p>【環境経済部】 経済政策課、農政課、環境保全課、クリーン推進課</p> <p>【健康福祉部】 社会福祉課、介護福祉課、子育て支援課、保育課</p> <p>【都市建設部】 都市計画課、開発指導課、建築指導課、営繕課、都市整備課、土木管理課、建設課、下水道課</p> <p>【教育委員会】 教育総務課、学務課、指導課、生涯学習課</p> <p>【その他】 会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局</p>
支所	<p>【印旛支所】 総務課、市民福祉課、地域づくり課</p> <p>【本埜支所】 総務課、市民福祉課、地域づくり課 【水道部】 水道課</p>
小学校 中学校	<p>【小学校】 木下小学校、大森小学校、小林小学校、小林北小学校、永治小学校、船穂小学校、木刈小学校、小倉台小学校、内野小学校、原山小学校、高花小学校、西の原小学校、原小学校、六合小学校、宗像小学校、平賀小学校、いには野小学校、本埜第一小学校、本埜第二小学校、滝野小学校</p> <p>【中学校】 印西中学校、小林中学校、船穂中学校、木刈中学校、原山中学校、西の原中学校、印旛中学校、本埜中学校、滝野中学校</p>
幼稚園 保育園	<p>【幼稚園】 大森幼稚園、瀬戸幼稚園、本埜幼稚園</p> <p>【保育園】 木下保育園、大森保育園、木刈保育園、内野保育園、高花保育園、西の原保育園、もとの保育園</p>
学童 クラブ	<p>・木刈学童クラブ ・原山学童クラブ ・木下学童クラブ ・小倉台学童クラブ          ・西の原学童クラブ ・高花学童クラブ ・内野学童クラブ ・大森学童クラブ ・原学童クラブ          ・小林学童クラブ ・いには野学童クラブ ・平賀学童クラブ ・滝野学童クラブ          ・原第2学童クラブ ・永治学童クラブ ・小林第2学童クラブ</p>
出先 機関	<p>【出張所】 中央駅前出張所、牧の原出張所、小林出張所、船穂出張所、岩戸出張所、平賀出張所、滝野出張所</p> <p>【その他】 中央保健センター、総合福祉センター、保健福祉センター、本埜保健センター、          そうふけふれあいの里、ふれあいセンターいんば、(印旛保健センター)          高花学校給食センター、牧の原学校給食センター、印旛学校給食センター、          本埜学校給食センター、滝野学校給食センター、          中央駅前地域交流館、小林コミュニティプラザ、中央公民館、中央公民館宗像分館、          ふれあい文化館、印旛公民館、本埜公民館、          文化ホール、大森図書館、小倉台図書館、          本埜ファミリア館、資料整理作業所、印旛歴史民族資料館、印旛医科器械歴史資料館、          サザンプラザ、フレンドリープラザ、永治プラザ、船尾コミュニティセンター、市民活動支援センター          松山下公園</p>

## 2 温室効果ガスの排出状況等

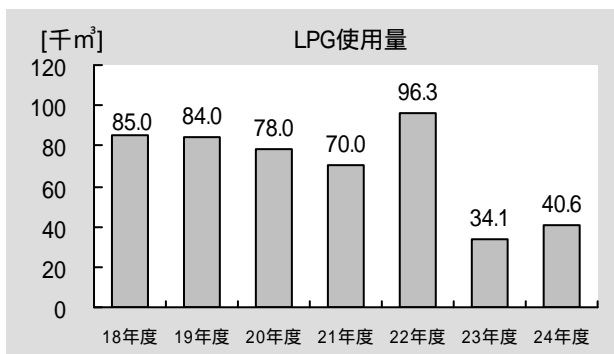
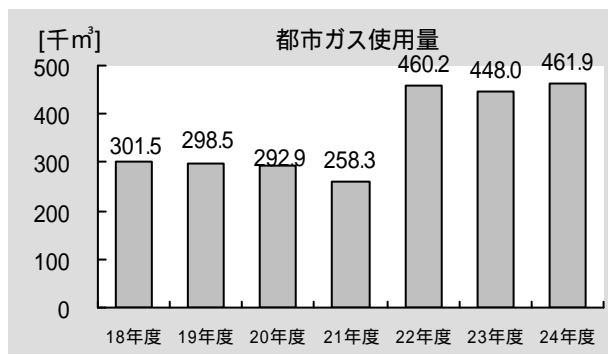
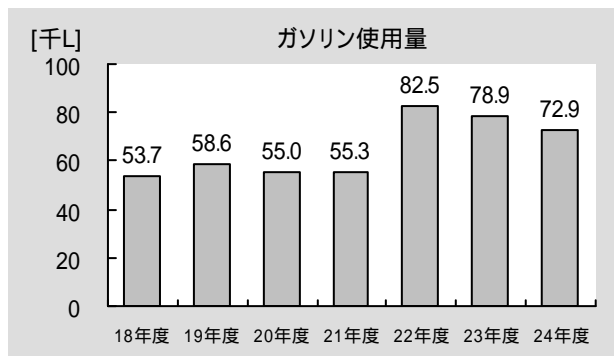
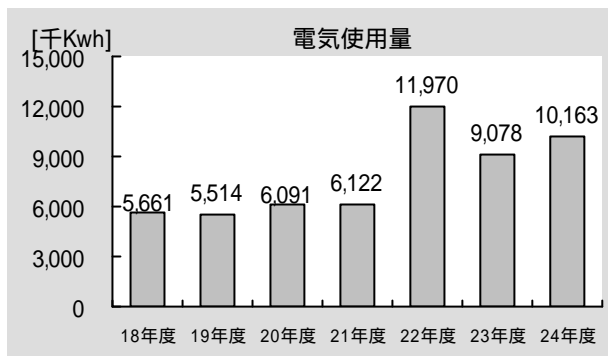
### 燃料等の使用状況

平成 23 年度には国の節電要請や復旧工事等により利用を極端に控えた施設があったため、エネルギー使用量が大幅に低下しましたが、平成 24 年度は相対的にエネルギー使用量が増加する形となりました。

〈 燃料等使用状況一覧 〉

項目	年度	単位	年間使用量		使用量 対前年比
			平成 23 年度	平成 24 年度	
燃料使用量	ガソリン	L	78,925	72,898	7.6% 減
	灯油	L	139,092	157,308	13.1% 増
	軽油	L	14,707	18,512	25.9% 増
	A重油	L	16,080	16,455	2.3% 増
	LPG	m <sup>3</sup>	34,130	40,581	18.9% 増
	都市ガス	m <sup>3</sup>	448,026	461,898	3.1% 増
電気使用量		kWh	9,078,231	10,163,047	11.9% 増
自動車 走行量	ガソリン車	km	828,694	791,780	4.5% 減
	軽油車	km	22,892	26,379	15.2% 増
水道使用量		m <sup>3</sup>	182,415	195,870	7.4% 増
下水処理量		m <sup>3</sup>	166,135	166,781	0.4% 増
紙使用量	普通紙	枚	145,570	1,371,530	842.2% 増
	カラーコピー用紙	枚	48,983	50,900	3.9% 増
	再生紙	枚	8,503,500	6,042,000	28.6% 減

〈 燃料等使用状況 〉



### 温室効果ガスの排出状況

平成24年度の温室効果ガス総排出量（二酸化炭素換算）は、エネルギー使用量の増加により、前年度より10.5%多い7,517,760 kg-CO<sub>2</sub>となりました。

排出源別に見ると、電気（75.0%）、都市ガス（12.8%）、灯油（5.2%）、液化石油ガス（LPG 3.4%）の順に多く、この4項目で全体の約96%を占めています。

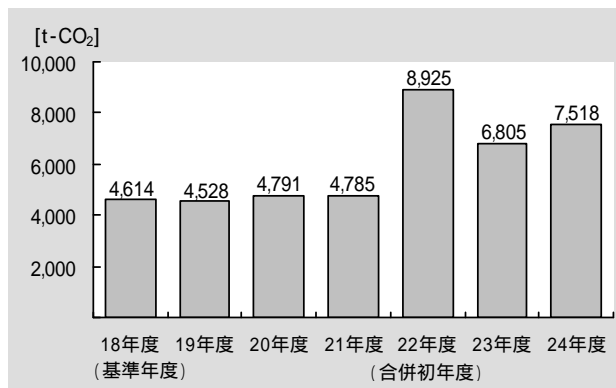
なお、旧印西市を対象として策定した現行の庁内エコプランでは、合併して施設数が増加した現在の印西市における温室効果ガス排出状況を適切に評価することが出来ないため、対前年度比で進捗を評価するとともに、今後に向けた新たな基準年度と削減目標の設定を検討しています。

《 温室効果ガス総排出量の推移 》

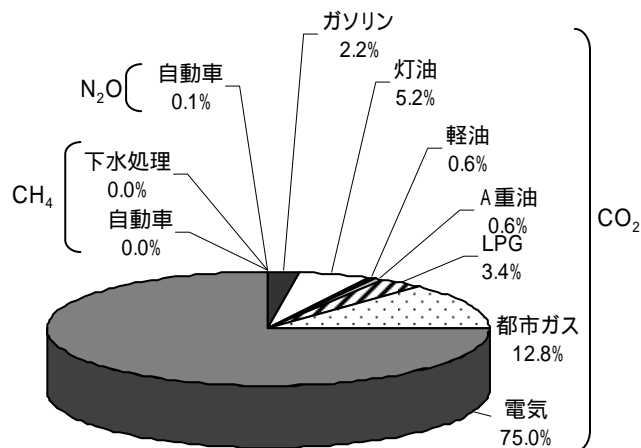
活動の種類 温室効果ガス区分	年度	年間排出量(kg-CO <sub>2</sub> )		活動種類別 温室効果 ガスの割合
		平成23年度	平成24年度	
二酸化炭素	ガソリン	183,107	169,123	2.2%
	灯油	346,339	391,697	5.2%
	軽油	38,532	48,501	0.6%
	A重油	43,577	44,593	0.6%
	LPG	212,290	252,411	3.4%
	都市ガス	931,895	960,747	12.8%
	電気	5,038,418	5,640,491	75.0%
メタン	自動車の走行	207	211	0.0%
	下水の処理	3,070	3,082	0.0%
一酸化二窒素	自動車の走行	7,123	6,904	0.1%
合 計		6,804,558	7,517,760	100.0%
前年度からの増減率		23.8% 減	10.5% 増	

備考）庁内エコプランにおいては対象とする温室効果ガスを二酸化炭素としていますが、社会情勢を考慮して自動車走行、下水処理に伴い発生するメタンと一酸化二窒素を対象ガスに含めています。

《 温室効果ガス総排出量の推移 》



《 平成24年度温室効果ガス排出量の割合 》

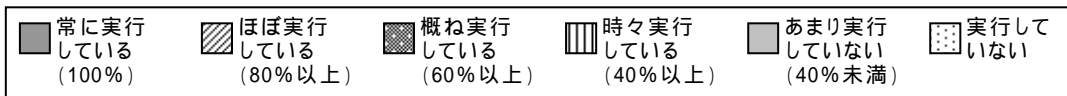


### 3 取組みの実施状況

市では、平成 15 年度以降継続して市職員に対する庁内エコプランの周知に努めてきました。

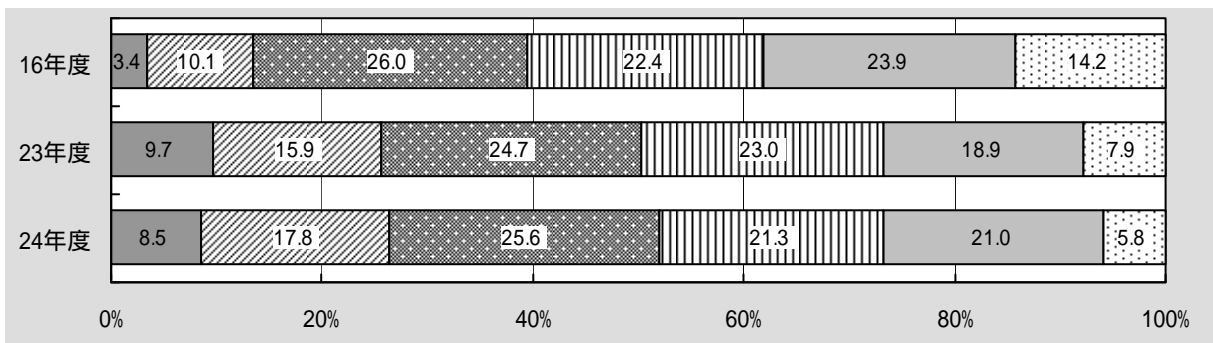
全職員を対象として実施した自己行動調査の結果を、取組み初期（平成 16 年度）と平成 24 年度とを比較すると、ほとんどの項目で「常に実行している」の割合が増加していました。

#### 取組みの実施状況の変化

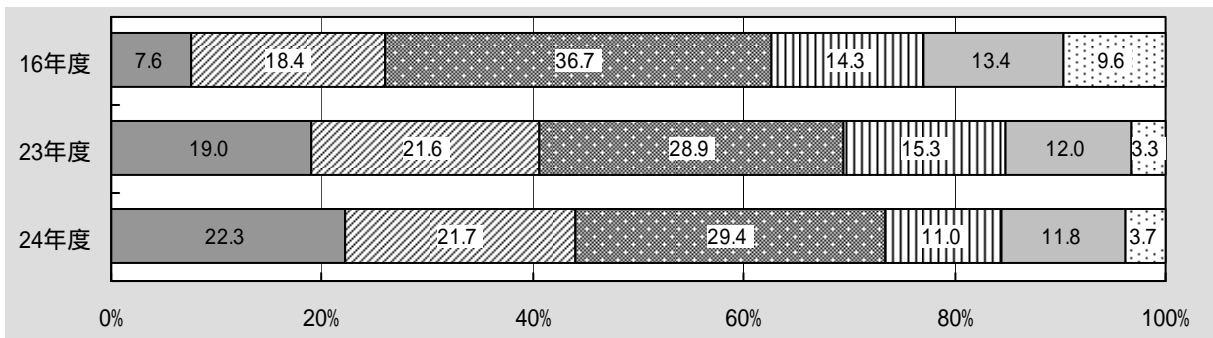


#### グリーン購入の推進

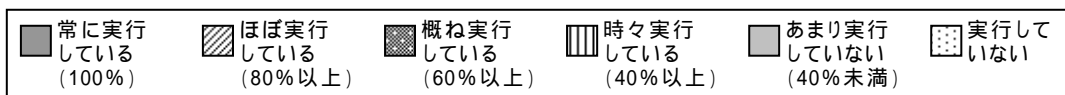
##### ● エコマーク商品※を優先的に購入している



##### ● エネルギー効率の良い OA 機器の導入を心がけている

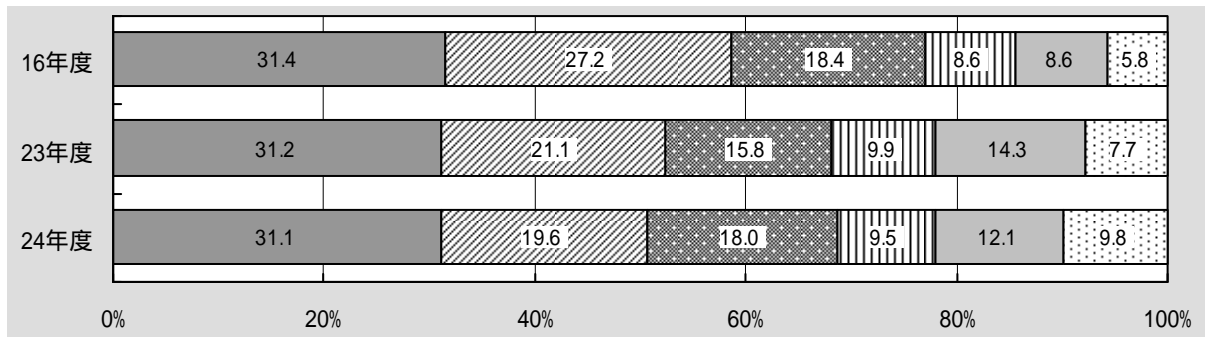


グリーン購入の推進に関する取組みでは、「常に実行している」と「ほぼ実行している」の割合の推移をみると、エコマーク商品の購入は 2 割以上に、エネルギー効率の良い OA 機器の導入は 4 割以上まで増加しました。品質や価格だけでなく、環境負荷の低減に配慮した購入先を選ぶ「グリーン購入」の推進は、事業者の環境意識向上にも寄与するため、今後もより一層の推進を図っていきます。

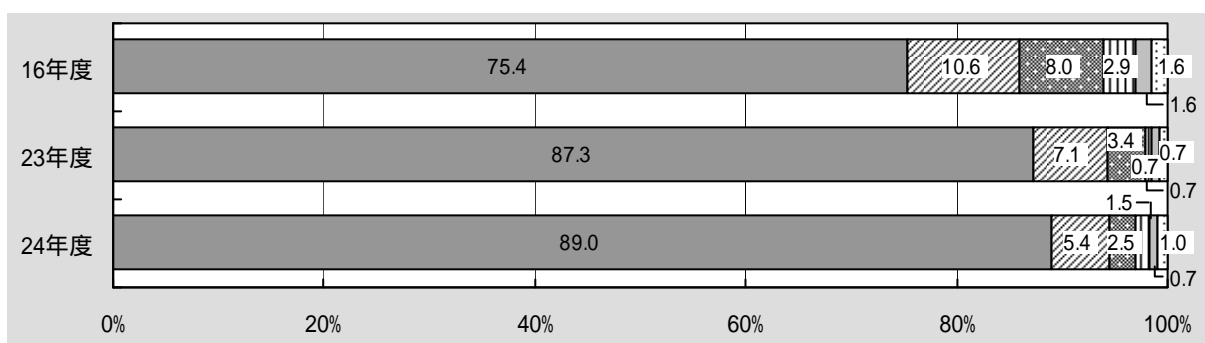


公用車の適正な維持管理の推進

● アイドリングストップを実施している



● 公用車 1 台ごとに走行距離・給油量等を記録している

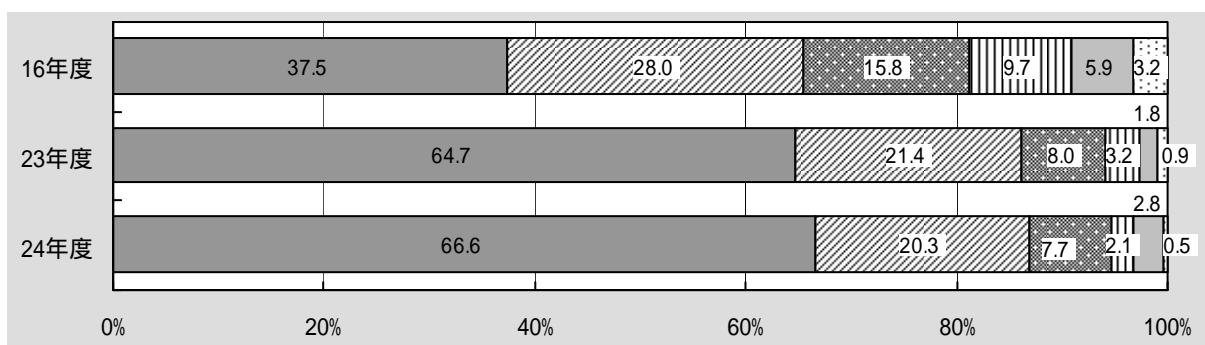


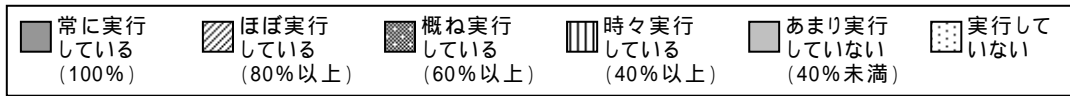
走行距離や給油量の記録は、「常に実行している」と「ほぼ実行している」の合計が約9割となっており、平成16年度と比較してさらに行動が定着しました。

一方、アイドリングストップの取組み割合はあまり増えておらず、職員の意識向上と取組み強化が課題です。

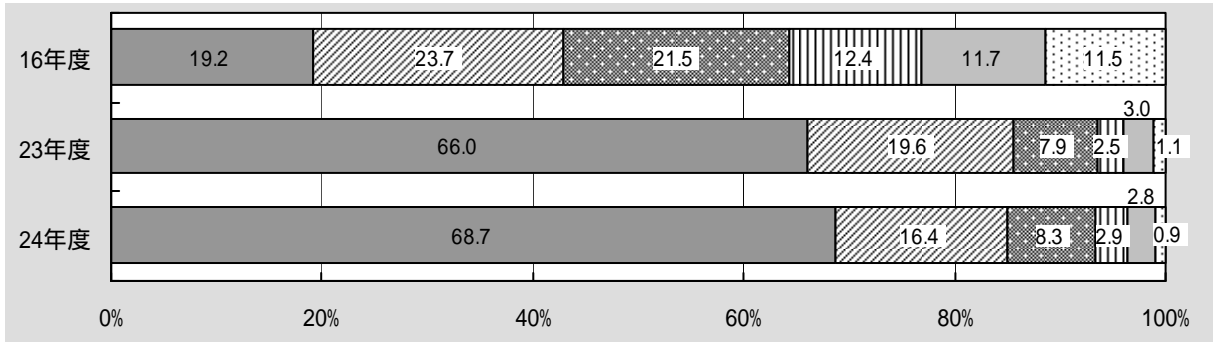
省エネルギー・省資源対策の推進

● 昼休みの消灯、時間外の不要箇所の消灯を実施している

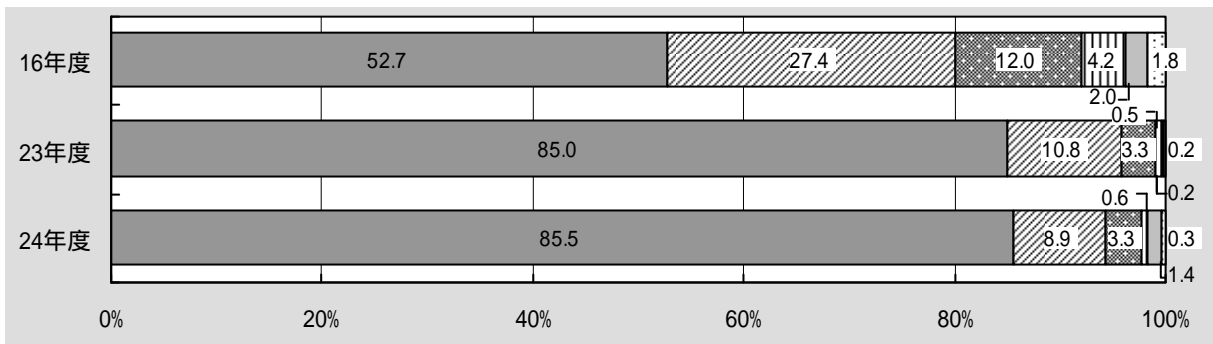




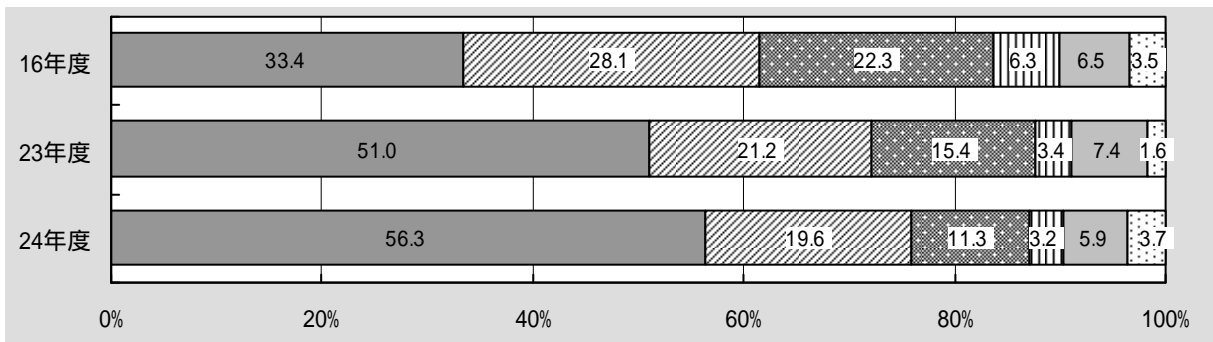
● パソコンは未使用時には電源を落とすように心がけている



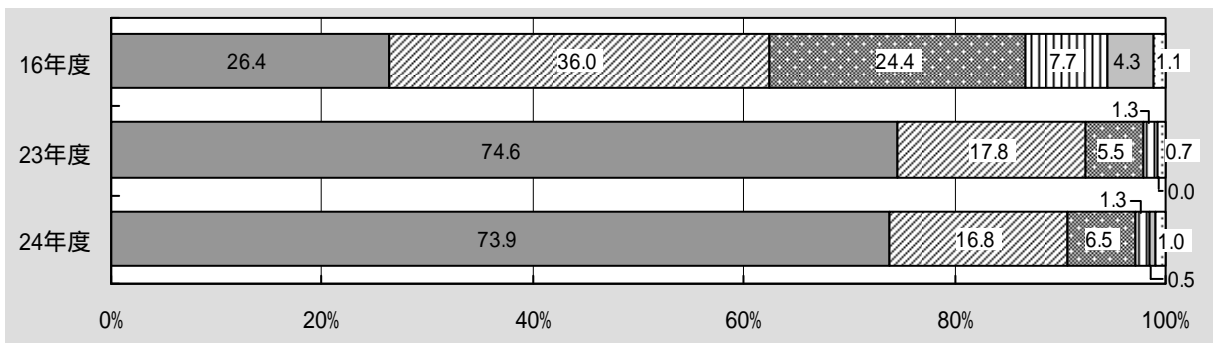
● トイレ・給湯室・更衣室等は使用の際に点灯するようにしている



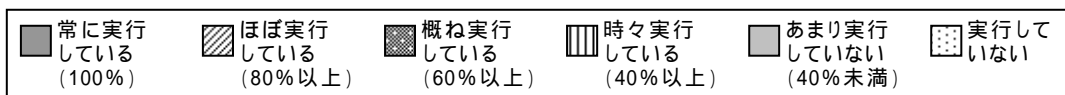
● ノー残業デーを実施している



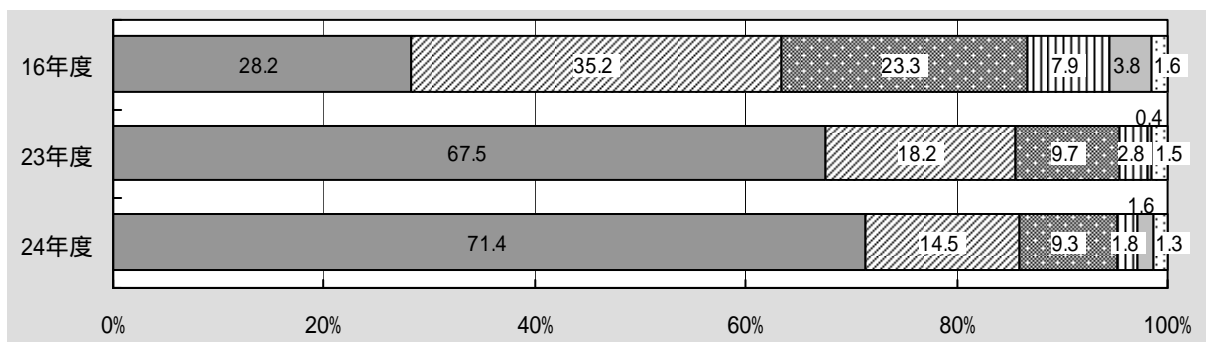
● 暖房・冷房は適切な温度調節を心がけている



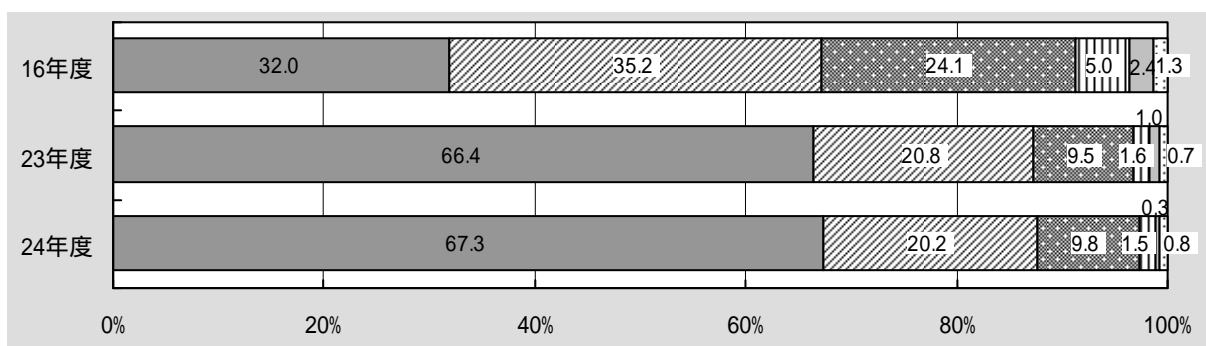




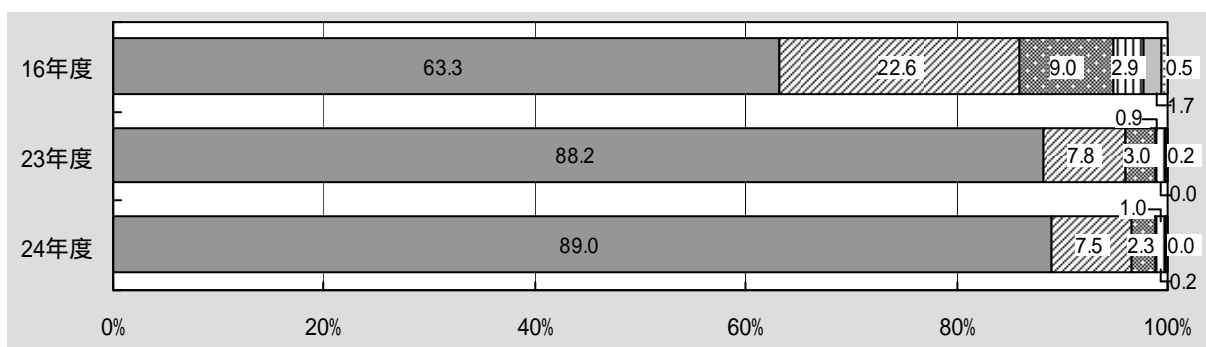
● 夏季にはブラインドを閉める等、室温の上昇を防ぐよう努めている



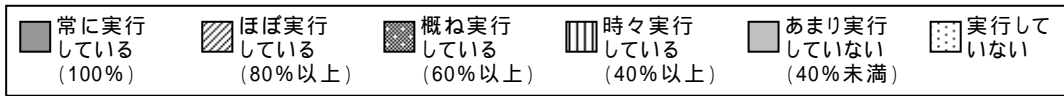
● 日常的な節水を心がけている



● 荷物の搬入・搬出以外ではエレベーターを使用しない

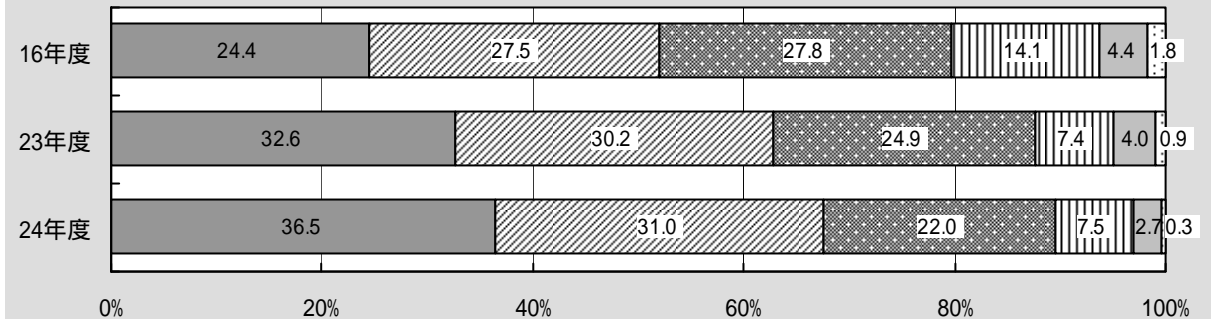


省エネルギー・省資源対策への取組みはいずれも定着しつつあり、特に「トイレ・給湯室等の電源OFF」、「冷暖房の適切な温度調節」、「ブラインド等での室温の上昇防止」、「エレベーターの使用自粛」といった日常的な省エネの取組みは、「常に実行している」の割合が7割を超え、積極的な取組みが進められています。

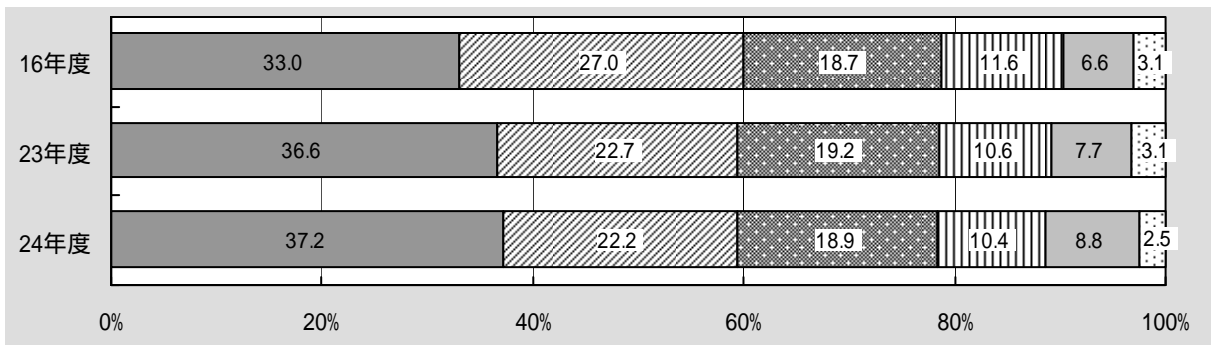


### 廃棄物の減量化・資源化の推進

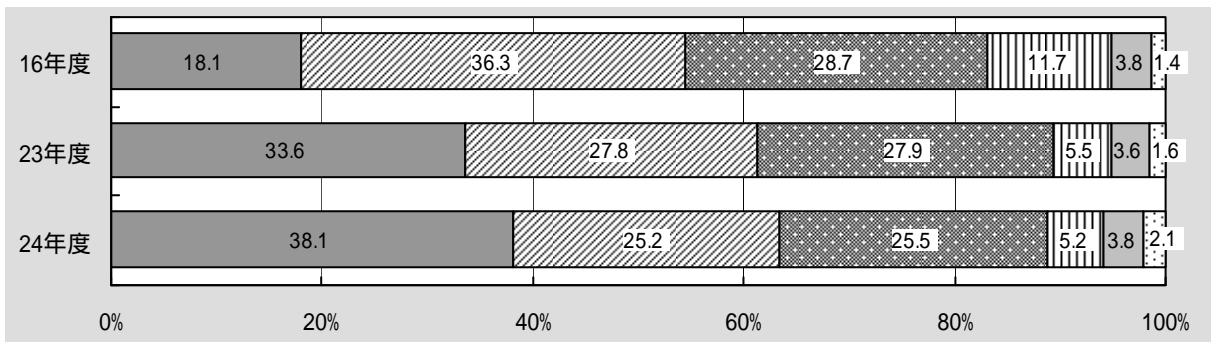
- 資料等は両面コピーで作成している



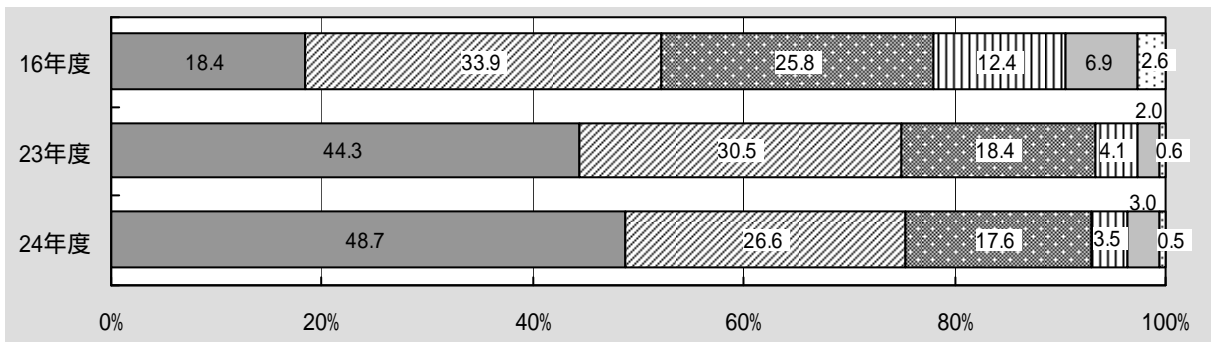
- 片面使用済み用紙の裏面をコピー用紙等として活用している

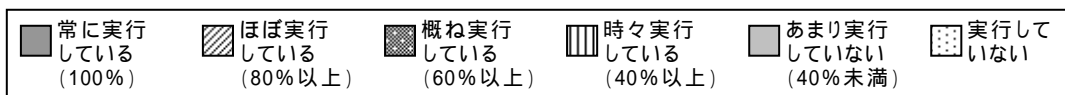


- 庁内情報システムを利用し、ペーパーレス化に努めている

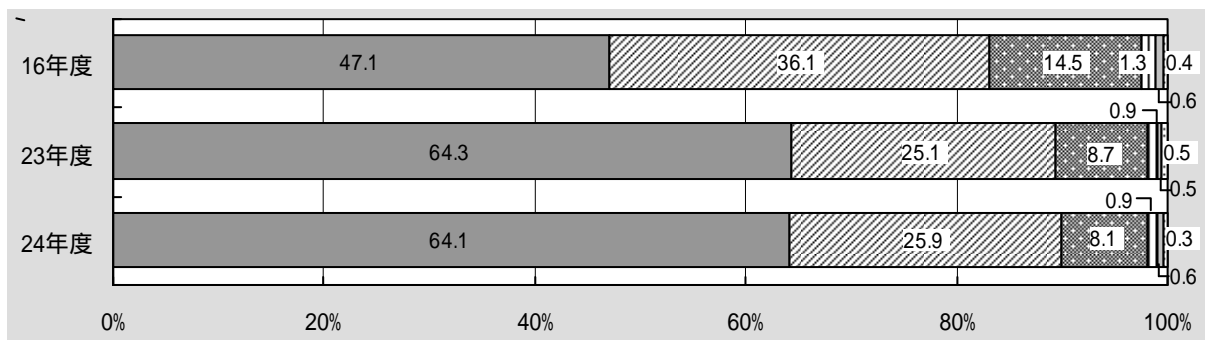


- 外部機関との事務連絡はできる限り電子メールを利用している

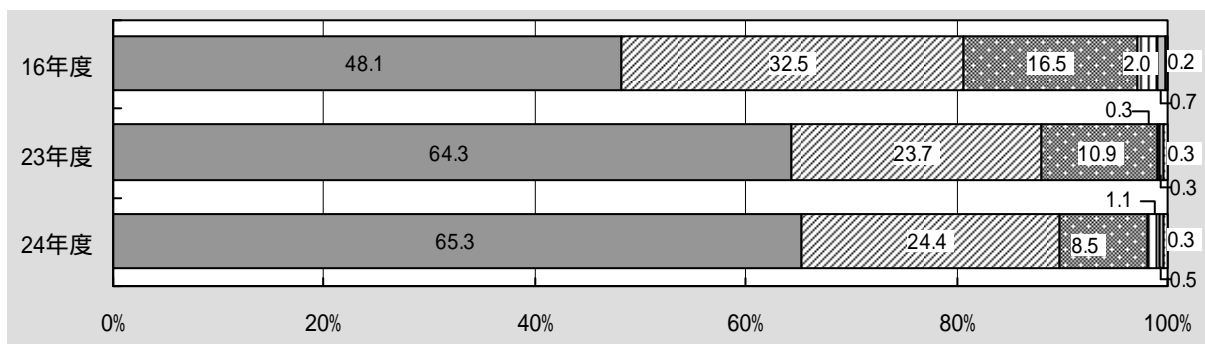




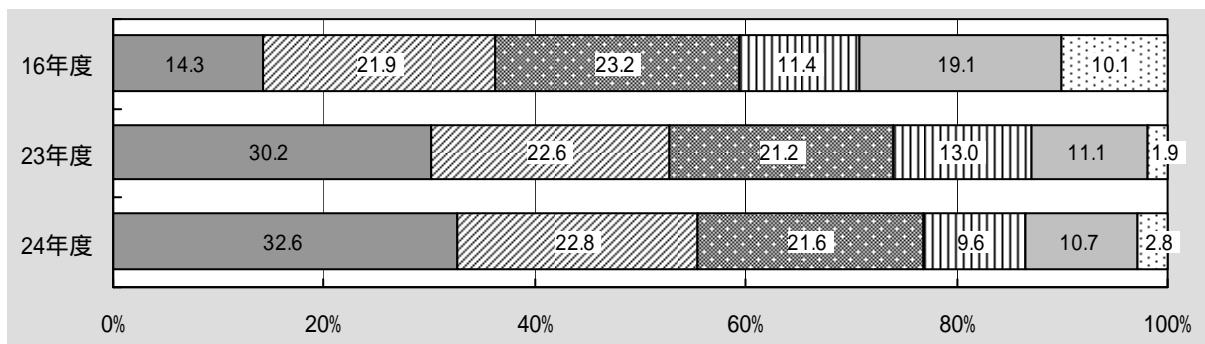
● ごみの分別を徹底している



● シュレッダーは秘密文書に限り使用している



● 割り箸、紙コップ等の使い捨て商品を使用していない



紙使用量の抑制やごみ分別に関する取組み状況は平成16年度と比較すると全て向上しましたが、「資料等は両面コピーで作成」や、「割り箸や紙コップ等の使い捨て商品の使用自粛」など取組みが遅れているものもあり、さらなるごみ減量意識の向上が求められます。